



中津川のサケを地域の資源に ～「もりおか中津川サケ物語」発行に向けて～

中津川に遡上するサケを資源としたまちおこしの取り組みとして、今年度これまでに3回のワークショップを重ね、サケを題材とした広報ツール「もりおか中津川サケ物語」の作成をすすめてきました。

このたび、第4回（最終回）のワークショップを、下記のとおり開催します。

今回は、これまで3回のワークショップで延べ100名を超える方々で検討した内容を反映させた最終案をとりまとめ、発行に向けた最終確認を行います。

また、今後の活用方法や、サケを資源としたまちおこしの新たな活動展開等について話し合いを行います。

- 1) 実施日時
平成29年 3月 2日（木） 14時00分～16時30分
- 2) 実施場所
盛岡市中央公民館 大会議室（盛岡市愛宕町14-1）
- 3) 実施内容
 - ・最終案の内容を確定。
 - ・作成した「もりおか中津川サケ物語」の利活用方法
 - ・その他サケを資源とした今後の活動展開 等

《発表記者會：岩手県政記者クラブ》

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

副所長（河川） みうら よしあき
三浦 義昭

建設専門官 うるしはら かずや
漆原 和也

〒020-0066 岩手県盛岡市上田四丁目2-2

TEL（代表）019-624-3131（工務第一課直通） 019-624-3198

《これまでのワークショップの様子》



第1回 (H28.11.24)



第2回 (H29.1.24)



第3回 (H29.2.14)

第1回ワークショップで決まったこと

項目	内容
作成目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の総合学習などで活用 ・ 一般市民や観光客向けにも活用
想定する読者像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校高学年程度を対象 ・ 児童の親や観光客等にも使用できるもの
掲載内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ サケの種類 ・ オス・メスの見分け方 ・ 産卵場の見分け方 ・ サケの一生 ・ 生命のつながり（食物連鎖） ・ 中津川の歴史（サケとの関わり） ・ その他

第2回ワークショップで決まったこと

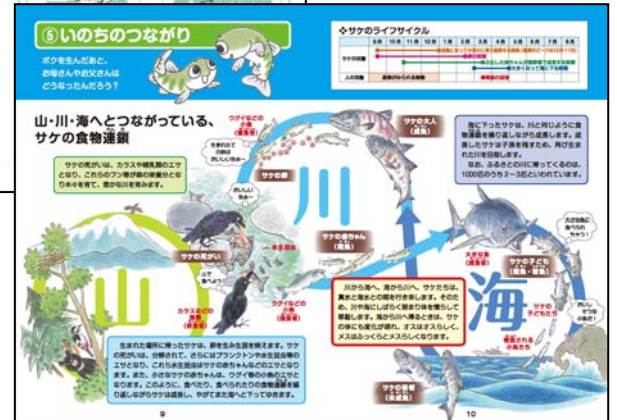
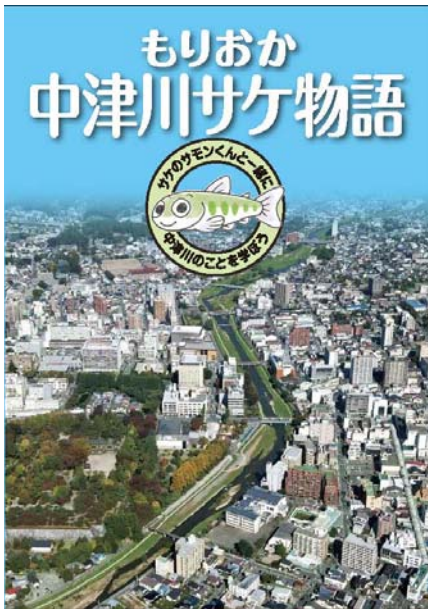
項目	内容
形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20 ページ程度の冊子タイプとする
タイトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「もりおか中津川サケ物語」に決定
掲載内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ文字は少なく写真やイラストで表現 ・ メモ欄は設けず、内容の充実を図る ・ サケ以外の生物の紹介も必要 ・ 中津川の水質や洪水の歴史の紹介も必要 ・ その他

第3回ワークショップで決まったこと

項目	内容
掲載内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容の詳細についての修正 ・ 震災を乗り越えて中津川に戻ってきたサケへの市民の熱い思いを加える ・ その他

「もりおか中津川サケ物語」作成イメージ

【イメージ】



【体裁】

サイズ	A5版
ページ数	20ページ

【内容構成】

① ボクのふるさと中津川
② ボクが生まれるまで (産卵)
③ ボクが生まれるまで (卵から稚魚へ)
④ ボクの長い旅
⑤ いのちのつながり
⑥ 安心できる中津川
⑦ 中津川にすむ生き物たち
⑧ 中津川の昔と今
⑨ 川を楽しむために